

(2) コロナ禍で開始したオンラインでの事業実施について、一方方向になり、参加者同士の交流が難しく、つながりづくりが必要な事業

事業名	令和3年度成果と課題	令和4年度取組及び実施状況	今後の課題	基本方針							
				保健				食育			
				1	2	3	4	1	2	3	
福祉まつり事業	オンラインにて開催 YouTube配信団体：13団体 WEB型参加団体紹介：50団体 オンライン開催することができたが、福祉団体及び福祉施設等と地域との交流については十分にできなかった。	けやき並木通り・ペDESTリアンデッキで開催。 参加団体：81団体 けやき並木で実施することにより、福祉関係者だけでなく、買い物客等呼び込むことができ、様々な層に参加してもらうことができ、地域のつながり作りとしては、改善がみられた。	【出展団体の募り方】 初めてけやき並木通りで実施したが、出展団体が限定的（例年参加している団体への声掛けのみ）であったため、出展団体を広く募る方法を検討する。 (参考：令和5年度実施状況) 令和5年度は出展団体を広報(府中市社会福祉協議会ホームページ)で募集し、新規団体を取り込んでおり、改善がみられた。					●			

2 その他の課題

(1) 新規参加者の開拓が必要な事業

事業名	令和3年度成果と課題	令和4年度取組及び実施状況	今後の課題	基本方針							
				保健				食育			
				1	2	3	4	1	2	3	
障害者地域交流促進事業 (waiwaiフェスティバル)	参加人数：2,410人 障害者福祉に馴染みのない市民層の来場者数増	参加人数：4,768人 障害者福祉に馴染みのない方にも興味をもってもらえるよう、バラスーツイベントと同時開催する等、内容を工夫した。	【参加者の新規開拓】 障害者福祉に馴染みのない市民層の来場者の増加により、効果的な障害者福祉の啓発を図る。					●			
各種フレイル予防教室	老化の兆しのある方に対して週1回の来所と宿題を実施。少人数制教室で実施していることから、個別対応することができた。 教室参加対象者が重複することから、参加人数が分散していた。	同一対象者（要支援1もしくはは老化の兆しありの方）で実施していた「弁慶塾」 ^(注) に統合した。 公募による募集を中止し、いきいきプラザ来所者への個別の声掛けや地域包括支援センターと連携し、必要とする人に対して講座の受講を促すことにより、新規参加者の開拓を図った。また、「弁慶塾」に統合することにより、講座プログラムをカスタマイズできるようになり、個人に合ったプログラムを提供することができた。	【事業内容の共通理解】 地域包括支援センター等、関係者間で事業内容の共通理解を深めフレイル予防につなげる。		●				●	●	

(注) 弁慶塾：いきいきプラザ内のフレイル予防教室修了者やいきいきプラザ・地域包括支援センターなどが推薦する方を対象に、体力及び健康維持向上を図る介護予防教室。個人に合ったプランを職員と一緒に考え、自信をもってやりたいことができる気持ちと身体づくりを行う。